

Project Tangibleに参加して

- ◇日時:令和8年3月20日(金)~22日(日)
- ◇場所:武蔵野美術大学市谷キャンパス(東京都新宿区)
- ◇参加者:2年普通科生徒4名
- ◇引率:丹保陽登先生(本校理科)



2年SS探究Ⅱでスマホの利用に関して探究している私たちは、武蔵野美術大学がデザインの手で高校生の探究活動を支援するプロジェクトのタンジブルキャンプに参加した。タンジブルとは英語の tangible から来た言葉で、タンジブル化は、実感できる形にすることを言う。

1日目はタンジブルについて学び、様々なワークショップを体験した。懇親会では他の高校生と交流を深めた。2日目は東京・



ニューヨーク・ロサンゼルスを拠点に活動する日本発クリエイティブ結社である CEKAI/世界株式会社のワークショップに参加した。「同世代が推せる作品・展示を

考えよう！」という題目で、グループに与えられたテーマに関する展示を考え、グループでテーマの推しポイントを出し合っ、タンジブル化」を学んだ。また、配布されたシートを用いて、私たちの探究活動を整理した。その中で、私たちが本当にしたい探究活動は何かを明確化できた。3日目には2日間で学んだことをまとめ、自分たちの探究活動をタンジブル化した後に、発表会を行った。発表会には武蔵野美術大学の教授の方々も参加され、講評していただいた。



3日間で得た経験をもとに、7月に行われるタンジブルメンタリングでより良いものを展示できるよう、これからも探究活動を続けていきたい。

(令和7年度SS探究Ⅱ 1204班 記)